

KITASATO UNIVERSITY

北里大学

医療衛生学部 リハビリテーション学科
言語聴覚療法学専攻

6.3.Fri. at Sagamihara
13:00~16:10

松平 登志正 教授



北里大学 医療衛生学部の魅力

現代医療の主流である「チーム医療」を支える人材養成を目的に日本で初めて開設された医療系学部である。北里大学病院はじめとする4つの関連病院があり、臨床にリンクした教育現場が特色だ。医療関連技術者に対応する4学科6専攻。「一般教育」「基礎医学と臨床医療学」「専門科目と臨床実習」のカリキュラム編成で学年が進むにつれて専門性を深め、知識・技術を習得していく。医療現場で活躍する人材及び最先端の研究・開発を行う専門分野におけるリーダーの育成を目指す。

話す・聴くをサポートする 注目の「国家資格」 課題をクリアするたびに 夢実現へ着実に前進!

今日の講義

対象学年：学部3年生。
流れ：
補聴器の適合について医療現場に即した知識と技術を習得する。実習を通して講義で学んだ知識の理解を深め、実技に習熟する。週1回、2コマ連続。
講義を通じて身につく力：
補聴器の適応判定、選択、特性測定、基本調整が正確に行え、難聴者の聴力とニーズに合う補聴器適合が行えるようになる。
おもしろさ・醍醐味：
クラス一丸となり協力し合って進めるので、理系分野が苦手な者もスムーズに取り組める。
そのほか、講義の雰囲気など：
国家試験対策として毎回小テストを実施。各授業のポイントを把握し、復習する。

**声帯を切除しても話せるようになる!?
医療現場に即した実践的な授業**

「それでは、前回の復習である小テストの答え合わせから始めます」。松平登志正先生の一言で和気あいあいとした空気が一変した。講義と実習を組み合わせた「補聴器・人工内耳」。受講しているのは、言語聴覚士を目指す北里大学医療衛生学部の36名だ。入学時より専攻が分かれ、ほとんどが共通のカリキュラムを受講するためか高校のクラスのような一体感がある。

「言語聴覚士」は1997年に認定された比較的新しい国家資格だ。脳梗塞の後遺症などで言いたいことが出てこない失語症や、ガンを声帯を切除



して発声訓練が必要とされる患者さんのリハビリテーションを行う職業である。リハビリには「話す」ためのものと「聴く」ためのものがあり、今回取材したのは後者のリハビリについての講義だ。補聴器の構造や測定方法をトータル32コマを費やして詳しく学んでいく。

小テストの内容は「補聴器のフィッティング」に関する知識だった。ポイントは最大出力音圧(どこまで大きな音を出せるか)と音響利得(どれだけ音を増幅させるか)の二つ。「最大出力音圧」は平均聴力レベルを測定し、うるさいと感じるレベルギリギリかそれよりもやや低く設定する。「音響利得」は定められた方式に沿って計算し、適切な数値を捉える。他に高い音と低い音のバランスを取ることも必要だ。設定手順を一通り復習したら、いよいよ実習スタートだ。



「もうだめ。先輩に助けてもらおう」実習には担当教授以外にティーチングスタッフとして大学院生がつかうことも多い。疑問点や困ったことがあればすぐにサポートが得られるので安心だ。

「語音明瞭度が右耳94%で左耳34%。ということは、聞こえがよいほうに装着するから右耳に合わせればいんだよね」「各周波数における聴力の値を拾っていくと...」。目標値を計算するチームはしっかりと理解しているのか、迷いが無い。あつという間に作業を終えた。一方、機器のセッティングを行うチームは悪戦苦闘している様子。マニュアルを必死に解読してみるが実際の機器に上手くリンクしない。

今回の実習は6グループに分かれて行われた。与えられた4つの症例のなかで2つを選び、補聴器の仮設定を行う。

**症例を想定した補聴器の仮設定
実習成功のカギはチームワークにあり**

「国家試験に合格することはもちろんですが、聴覚分野へ進む人が現場でしっかりやっていける技術を身につけてもらいたいと考えています」と松平先生。補聴器設定といっても細部にまで配慮した医療行為に他ならない。

現在、医療現場はデジタル化が急速に進んでいる。最新の補聴器では複雑な計算はすべてパソコンがやってくれるので、言語聴覚士自身が計算するシチュエーションはほとんどない。にもかかわらず、どうしてわざわざ時間を割いて学ぶのか。松平先生が説明してくださった。実際患者さんと接するときには何が起るかわかりません。基本の仕組みをひと通り理解しているのといないのではいざという時の応用力や対応力が違ってくるのです。

実は補聴器についてここまで詳しく学ぶ大学はほとんどない。「話すためのリハビリ職に就く言語聴覚士が圧倒的に多いからだ。」「マイナーでも患者さんのニーズがある分野をきちんと学べるのが北里大の特色の一つ。それに補聴器に関する知識は国家試験の頻出項目でもあるんですよ。ある学生が語ってくれた。

リハビリテーション学科はすべてクラス単位で国家資格を目指すカリキュラム編成になっている。他に理学療法専攻、視覚機能療法学専攻が設置されている。「数値的なことは苦手だけどみんな協力し合えるので大丈夫一やるべきことがいっぱいで大変だけどやめようと思ったことは一度もありません」。自ら選びとった道。明確な目標に向かって着実に歩を進める学生たちの生き生きとした表情が心に残った。

**デジタル化・自動化の進む医療現場
敢えて基礎的計算を学ぶ理由とは?**

「国家試験に合格することはもちろんですが、聴覚分野へ進む人が現場でしっかりやっていける技術を身につけてもらいたいと考えています」と松平先生。補聴器設定といっても細部にまで配慮した医療行為に他ならない。

現在、医療現場はデジタル化が急速に進んでいる。最新の補聴器では複雑な計算はすべてパソコンがやってくれるので、言語聴覚士自身が計算するシチュエーションはほとんどない。にもかかわらず、どうしてわざわざ時間を割いて学ぶのか。松平先生が説明してくださった。実際患者さんと接するときには何が起るかわかりません。基本の仕組みをひと通り理解しているのといないのではいざという時の応用力や対応力が違ってくるのです。

実は補聴器についてここまで詳しく学ぶ大学はほとんどない。「話すためのリハビリ職に就く言語聴覚士が圧倒的に多いからだ。」「マイナーでも患者さんのニーズがある分野をきちんと学べるのが北里大の特色の一つ。それに補聴器に関する知識は国家試験の頻出項目でもあるんですよ。ある学生が語ってくれた。

リハビリテーション学科はすべてクラス単位で国家資格を目指すカリキュラム編成になっている。他に理学療法専攻、視覚機能療法学専攻が設置されている。「数値的なことは苦手だけどみんな協力し合えるので大丈夫一やるべきことがいっぱいで大変だけどやめようと思ったことは一度もありません」。自ら選びとった道。明確な目標に向かって着実に歩を進める学生たちの生き生きとした表情が心に残った。

VOICES 学生の声
of University Students



黒柳 純太さん(左)
リハビリテーション学科
言語聴覚療法学専攻3年

森しおりさん(右)
リハビリテーション学科
言語聴覚療法学専攻3年

おばあちゃんついでで中学時代から介護に興味を持つようになりました。言語聴覚士という職業を知ったのは高2のときです。北里大のオープンキャンパスでは検査などを実際に体験でき、受験への気持ちが定まりました。クラスメイトとは小児や高齢者といった自分が専門としたい分野の情報交換なども行います。患者さんの気持ちを理解できるのはもちろん、仕事を生きがいに行きたくて取り組むたいと思っています。

看護師の母と将来の話をしていき「言語聴覚士はどうか?」と言われたのがこの道に進むきっかけです。その後自分で調べていくうちに声帯がなくなっても特殊な発声法を訓練すれば話せたりするということを知り、それはすごいなと思って。自分がこの職業を目指した最初の動機、「話せるようになって欲しい」という純粋な気持ちをずっと忘れない医療人になりたいです。



わがままな学生が語ってくれた。

「国家試験に合格することはもちろんですが、聴覚分野へ進む人が現場でしっかりやっていける技術を身につけてもらいたいと考えています」と松平先生。補聴器設定といっても細部にまで配慮した医療行為に他ならない。

現在、医療現場はデジタル化が急速に進んでいる。最新の補聴器では複雑な計算はすべてパソコンがやってくれるので、言語聴覚士自身が計算するシチュエーションはほとんどない。にもかかわらず、どうしてわざわざ時間を割いて学ぶのか。松平先生が説明してくださった。実際患者さんと接するときには何が起るかわかりません。基本の仕組みをひと通り理解しているのといないのではいざという時の応用力や対応力が違ってくるのです。

実は補聴器についてここまで詳しく学ぶ大学はほとんどない。「話すためのリハビリ職に就く言語聴覚士が圧倒的に多いからだ。」「マイナーでも患者さんのニーズがある分野をきちんと学べるのが北里大の特色の一つ。それに補聴器に関する知識は国家試験の頻出項目でもあるんですよ。ある学生が語ってくれた。

リハビリテーション学科はすべてクラス単位で国家資格を目指すカリキュラム編成になっている。他に理学療法専攻、視覚機能療法学専攻が設置されている。「数値的なことは苦手だけどみんな協力し合えるので大丈夫一やるべきことがいっぱいで大変だけどやめようと思ったことは一度もありません」。自ら選びとった道。明確な目標に向かって着実に歩を進める学生たちの生き生きとした表情が心に残った。



松平 登志正 先生

北里大学

医療衛生学部	教員数
薬学部	教授 203名
獣医学部	准教授 151名
医学部	講師 341名
海洋生命科学部	
看護学部	
理学部	
	学生数
	8,540名
	(大学院併設の場合は、院生数も含む)

【沿革・歴史】
1962(昭和37)年、世界的な細菌学者・北里柴三郎博士が創設した日本初の私立医学研究機関、北里研究所を母体に誕生。当初は1学部2学科構成であったが、7大学院、7学部15学科、4つの病院を擁する生命科学の総合大学に成長した。

【オープンキャンパス情報】
7月23日(土)、24日(日)
8月27日(土)
開催時間10:00~16:00
いずれも会場は相模原キャンパス
※詳細は、大学ホームページをご覧ください

資料の請求およびお問い合わせ先
URL <http://www.kitasato-u.ac.jp/>
〒252-0373 神奈川県相模原市北里1-15-1 北里大学入学センター
TEL:042-778-9760 FAX:042-778-9761